

プリン山再生特別委員会の設置について

千駄谷小学校のシンボルの一つであるプリン山は、昭和41年当時の主事さんであった小岩井様により寄贈されたものです。長きにわたり多くの子供たちに愛されてきたプリン山ですが、経年劣化による排水不良や、想定しなかった事故が発生したことなどから、現状では限定的な利用に止まっています。折々に改修が議論されるものの、区の資産でないこともあり、工事費用が捻出できず、改修が先送りされてきました。



今年はプリン山公開55周年、そして開校145周年の節目の年です。未だ終息の目処が立たないコロナ禍において、さまざまな場面で制約を受けるであろう子供たちが、思いっきり遊べるプリン山を目指し、PTA内にプリン山再生特別委員会を設置、先生+子供+保護者の三者が楽しく取り組める再生プログラムを構築したいと思います。費用はPTA通常予算ではなく、毎年積み立てられた予備費から捻出することを目標に推進したいと思います。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願ひします。

PTA会長 大林 稔幸

プリン山再生へのプロセス（案）

- 1) プリン山再生特別委員会を発足
 - 2) PTA規約第11条に準じて特別委員会設置を運営委員会に諮る
 - 3) 定期総会への審議事項として「予備費」利用の承認方法を起案
 - 4) 定期総会で2),3)の承認を仰ぐ
- 以下総会の承認を得られた場合
- 5) プリン山再生特別委員会の事務局参加者を募集（ホームページ開設） ・・・ 5月末
 - 6) デザイン条件を、専門家を交えてまとめる ・・・ 6月初
 - 7) 在校生により、図工の課題としてデザイン案を作成 ・・・ 6月中
 - 8) 先生方+特別委員会にてデザイン選考>発表 ・・・ 7月初
 - 9) 決定デザインに実施条件を肉付けし、PTA関係者を中心に施工業者を公募 ・・・ 夏休み中
 - 10) デザイン案+費用の説明を臨時総会に諮り承認を仰ぐ ・・・ 9月中
 - 11) 承認されれば、工事を開始する ・・・ 10月～11月
 - 12) プリン山改修工事完了のお披露目会を開催し委員会を解散する ・・・ 12月



なお本件ご提案に先立ち、学校や地域の諸先輩方に説明しご賛同いただきました。

加納 校長先生、大塚 副校長先生、加藤 同窓会長（元PTA会長）、武山 渋谷区青少年対策千駄ヶ谷地区委員会 副会長（元PTA会長）、林 施設開放委員長（元PTA副会長）、岡崎 千駄谷小学校コミュニティスクール・コーディネーター
※順不同・敬称略